報道資料

発表年月日 令和元年12月6日 担当部署名 奈良県福祉医療部医療政策局疾病対策課係・担当者 感染症係 桝田・井久保 連絡先 0742-27-8612(内線 3135・3133)

感染症の注意喚起~感染性胃腸炎の集団発生について~

県内の福祉施設において、感染性胃腸炎の集団発生事例(1週間に10名以上の発症)がありました。今シーズン(9月開始)初発の集団発生事例となりますので、注意喚起のため報道発表します。

- 1 発症者の状況 ※12月2日~12月6日までに保健所が確認した発症者数
 - ·発症者数(12月6日 9時現在) 16名

	発症者数	入所者数	職員数
入所者 (男)	1	7	
入所者(女)	10	45	
職員 (男)	4		24
職員 (女)	1		60

- ・発症者の年齢は、入所者80歳代~90歳代、職員30歳代~60歳代
- ・症状 嘔吐・下痢・発熱
- ・現在の状態(12月6日 9時現在) 有症者 16名 入院者・重症者 なし
- 2 検査結果
 - ・有症者(入所者)3名が医療機関の検便を実施。内3名がノロウイルス陽性と判明。 ※参考 給食は施設内での調理であるが、保健所が発症の状況を調査し食中毒は否定。
- 3 施設について

施 設 名 社会福祉法人恵風会 特別養護老人ホームやまびこ (しゃかいふくしほうじん けいふうかい とくべつようごろうじんほーむやまびこ)

所 在 地 宇陀市菟田野平井135番地 TEL:0745-84-9800

施 設 長 森田 恭宏(もりた やすひろ)

4 経過

12/5 中和保健所が、施設より下痢・嘔吐等の感染性胃腸炎症状の発症者が10人以上いるとの報告を受け、施設を現地調査。

5 感染拡大防止のための対応

保健所は施設に対して、施設内の消毒の徹底など感染拡大防止対策の徹底を指導。利用者・職員の健康状態の把握と保健指導(手洗いの励行、消毒、便・吐物の適切な処理方法等)の徹底を指導。家族等の面会者に対する注意喚起を指導。

- 6 感染性胃腸炎の防止策
 - ・感染性胃腸炎のほとんどは、ウイルスが口を介して侵入します。調理や食事の前には、必ず充分な手洗いを!
 - ・吐物や汚物の処理は、使い捨て手袋やマスク着用し、消毒液(次亜塩素酸ナトリウム)で消毒を!
- 7 その他
 - ・昨シーズン初の集団発生の報道発表は、平成30年11月21日で1施設、発症者12名。 ※集団発生の定義(1施設、1週間以内に概ね10名以上発症で2名以上の確定診断)